2012 EAST SERIES ALL DRIVERS & MACHINES

1 DRAGON | RK01 B-MAX・RK01・TODA

2 OSAMU | RK01 LEYJUN筑波ガレージRK01

3 中山雅佳 | ZAP F108 ZAP HITACHI 108

4 佐々木祐一 | WEST006 仙台DayDream&CMS

6 中村俊行 | WEST056 ウインズBooster056

7 山口大陸 | ZAP F108 TAIROKU EMS 108

8 山田 翔 | ZAP108 TKroom・ウインズ・ASアート・F108

11 植田正幸 | MYST KK-ZS Rnスポーツ KKZS制動屋

13 花岡翔太 | RK01 B-MAX・RK01・TODA

14 武平良介 | ZAP F108 WebAquaZAPJ.S.S.

17 小倉可光 | MC090 チームNATS・OAC 090

24 吉松晴雄 | RK-01 YDS RK01

34 三浦 勝 | WEST006 CMS006

35 髙橋忠克 | KK-ZS 高宮商事ミストKK-ZS

51 加藤正将 | WEST006 エナジーフォース・マーズ006

72 金井亮忠 | WEST056 チームNATS・正義 056

73 渡辺義人 | WEST006 チームNATS・エクシズ006

80 志賀洸太 | WEST006 ウィンズ 006。

国土交通省後援　F4東日本シリーズリザルト

EAST SERIES ROUND 1 MOTEGI
3月25日　ツインリンクもてぎ　出走17台　完走15台　10周

Pos.	No.	Driver	Team/Car	Time
1	14	武平良介	WebAquaZAPJ.S.S.	19'07"826
2	7	山口大陸	TAIROKU EMS 108	+0"331
3	72	金井亮忠	チームNATS・正義 056	+14"882
4	2	OSAMU	LEYJUN筑波ガレージRK01	+17"183
5	51	加藤正将	エナジーフォース・マーズ006	+17"707
6	4	佐々木祐一	仙台DayDream&CMS	+28"947
7	34	三浦　勝	CMS006	+31"240
8	99	渡辺義人	CMSエクシズAKBN006	+32"515
9	6	中村俊行	ウインズBooster056	+32"773
10	8	山田　翔	TKroom・ウインズ・ASアート・F108	+34"266
11	1	DRAGON	B-MAX・RK01・TODA	+35"163
12	3	中山雅佳	ZAP HITACHI 108	+35"446
13	24	吉松晴雄	YDS RK01	+43"392
14	17	小倉可光	チームNATS・OAC 090	+48"818
15	80	志賀洸太	ウィンズ 006。	+1'04"258
	35	髙橋忠克	高宮商事ミストKK-ZS	−8Laps
	13	吉田基良	B-MAX・RK01・TODA	−9Laps

EAST SERIES ROUND 2 MOTEGI
5月27日　ツインリンクもてぎ　出走16台　完走14台　12周

Pos.	No.	Driver	Team/Car	Time
1	13	花岡翔太	B-MAX・RK01・TODA	22'54"684
2	7	山口大陸	TAIROKU EMS 108	+8"325
3	14	武平良介	WebAquaZAP J.S.S.	+8"838
4	2	OSAMU	R・F・LEYJUN筑波ガレージ	+18"234
5	51	加藤正将	エナジーフォース・マーズ006	+21"826
6	72	金井亮忠	チームNATS・正義 056	+27"918
7	11	植田正幸	RnスポーツKKZS制動屋	+28"898
8	1	DRAGON	B-MAX・RK01・TODA	+32"842
9	8	山田　翔	TK・ウインズ・AS・F108	+33"342
10	4	佐々木祐一	仙台DayDream&CMS	+35"774
11	35	髙橋忠克	高宮商事ミストKK-ZS	+46"979
12	6	中村俊行	ウインズRealize056	+47"787
13	73	渡辺義人	チームNATS・エクシズ006	+55"706
14	17	小倉可光	チームNATS・OAC 090	+57"333
	3	中山雅佳	ZAP HITACHI 108	−8Laps
	24	吉松晴雄	YDS RK01	失格

NEXT ROUND　7月8日　東日本シリーズ Round 3　スポーツランドSUGO
8月5日　西日本シリーズ Round 4　岡山国際サーキット

DUNLOP —— F4東西シリーズはダンロップタイヤのワンメイクレースです

F4協会HP　www.formula-racing.org/

激突するコンストラクター
進化するフォーミュラレース

FORMULA 4 CHAMPIONSHIP
F4 PADDOCK NEWS
Vol.1

［R1-R2 REVIEW］拮抗する勢力図の中で武平と花岡が勝利

3人のタイトルホルダー参戦で激戦区となった東日本シリーズ

コントロールタイヤがダンロップに改められ、またアルミモノコックの車両を対象とした「Aクラス」が新設されることになった今年のF4。2ℓエンジンが大半を占めるようになったこともあり、戦力図にも変化が表れるのは間違いない。なお新しいタイヤに対してドライバーからの評価は極めて高く、共通するのは「ライフが伸びたから練習もしやすくなったし、しかもピークから先のタイムの落ちが少ない」という声だ。また同じダンロップとあって、「以前のFJやFCJのタイヤに特性が近い」という意見もあり、それらのカテゴリー経験を持つドライバーには、少なからずマージンとなるかもしれない。

今回はまず、東日本シリーズの序盤戦について紹介していきたい。もてぎが舞台の開幕戦には17台がエントリー、その中にはF4チャンピオン経験者の金井亮忠、加藤正将も含まれていた。両者ともAクラスながら、「総合優勝を狙います」と一向にハンデと感じていない様子だ。

そんな「常連」が多くを占める中、大いに気を吐いたのはルーキーでJSSスカラシップを受けて出場する武平良介だった。予選は山口大陸に続く2番手ながら、決勝ではスタート直後の山口のミスに乗じてトップに浮上。3番手にもルーキーの中山雅佳が続き、三つ巴の戦いが期待されるも、ジャンプスタートのペナルティが科せられ順位を大きく落とすことに。一方、その後も武平と山口のトップ争いは激しく繰り広げられるものの、ともにミスを冒さなかった。緊張感を漂わせたまま最終ラップに突入、山口が最後の勝負を仕掛けるかと思われたが、なんと90度コーナーでスピン車両があり赤旗でレース中断。そのままチェッカーを受けることなくレースは終了し、武平がデビューウィンを飾ることとなった。

3位は金井が獲得し、Aクラスで優勝。OSAMU、加藤、佐々木祐一の順でフィニッシュとなった。

続く第2戦も同じもてぎのフルコースが舞台となった。連勝狙う武平が初のポールを奪い、雪辱を誓う山口が3番手に。間に割って入ったのは花岡翔太。これで金井、加藤に続き3人のチャンピオンが東日本シリーズのグリッドに並ぶこととなった。

「2勝目はポール・トゥ・ウィンで」と力みすぎたのか、武平がスタートに出遅れ、2周目にはコースアウトを喫してしまう波乱のスタートで幕を開ける。これで楽になった花岡がまったく危なげなく走り続けていた一方で、怒濤の追い上げを見せていたのが武平。いったん10番手まで退いていたものの、7周目には山口に続く3番手にまで浮上する。開幕戦とは逆の立場でのバトルとなったが、山口はガードを固めて逆転を許さず2位に、3位の武平はランキング首位をキープした。そして4位はOSAMUで、5位の加藤が金井を抑えてAクラスの優勝を飾っている。なお第3戦SUGOの13号車には花岡に代わってF3、FCJで活躍する平川亮が参戦を予定している。

（上）開幕戦を制したのはルーキーの武平。（下左）山口、金井という実力者の間に、勝利した武平が立つことになった開幕戦の表彰台。（下右）開幕戦で6位に入った佐々木。